

中世の松浦 (49) 鷹島海底遺跡

『蒙古襲来絵詞』に見られるいわゆる「てつはう(鉄砲)」は、21点が出土しています。その特徴は、胎土は粗く、黒色粒を多く含み、気泡が弾けたようなアバタ状のざらつきが見られます。

「てつはう」のCT撮影によると、形状は円形の土製で口縁部の特徴から2種類に分けられ、中の空洞部には火薬と共に鉄片や陶器片が含まれており、炸裂によって敵に相当の被害を与える殺傷能力をもった武器であったようです。

これを実証するために愛知県陶磁資料館・火薬学会・日本煙火協会などの協力を得て、当時使われていたと思われる黒色火薬を使って「てつはう」を復元し、実際に爆発させる実験が計画されています。

実験に使用する「てつはう」は、内容物の種類と大きさ、火薬の種類・組成・密度・薬量・導火線の種類などによって、さまざまなる「てつはう」が制作されます。黒色火薬は木炭と硫黄と硝石の混合物からなる火薬で、この三つの材料を使って日本を攻める前に軍船内で調合していたことが想定されます。材

料はそれぞれ褐釉陶器壺類に入れられていたと思われ、調合用として使用されていたと思われる遺物に片口があります。片口はこれまでの調査で4点出土しており、片口の注ぎ口は1箇所、手で持てるように耳が2箇所あります。大きさは口径が20から25あり、重量も約7から10のものまであります。



▲昭和56年の調査で引き揚げられた片口



きらポン

図書館の
おすすめ本

市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索

サイエンス・アイ新書『タネのふしぎ』
田中修/ソフトバンククリエイティブ

次の世代に命をつなぐため、より良い状態の場所を選ぶタネ。植物がタネにとらせている戦略ともいえるその不思議な力に焦点を当てます。いつか学んだ懐かしい記憶が甦ったり、そうだったのか!と、気付くことも。わかりやすく、植物愛に溢れる視点で、小さくとも侮れないタネの世界を紹介します。



『ペンギン、長崎の海を飛ぶ!』
あんずゆき/フレーベル館

長崎ペンギン水族館の「ふれあいペンギンビーチ」を知っていますか? 海で泳いだことのないペンギンたちを海で泳がせてやりたい! その姿を子どもたちに見てもらいたい! そんな思いで世界初のチャレンジを成し遂げた人たちがいました。困難に負けず、夢をかなえた仲間とペンギンの物語です。



◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どもたちのお気に入りの1冊を紹介します。



志佐町高野免の石田愛さんと茉優ちゃん (8才)と善くん(3才)

【お気に入りの本】

『こうえんどりのようふくやさん』 堀直子/さく 小峰書店
『じどうしゃ大しゅうごう111』 講談社

【お母さんからひとこと】

親子で図書館に行くこと、本を読むことが大好き。お姉ちゃんも小学生になって読むスピードも早くなり借りる本も増え、本を通して成長を感じています。弟は本のおかげで乗り物にますます興味がふくらんでいる最中! ですが、夢中になり過ぎてすぐ走りそうになったり、本をやぶってしまわないかとヒヤヒヤです。いつも笑顔で迎えてくださるスタッフさんに感謝し、これからも利用させていただきます。

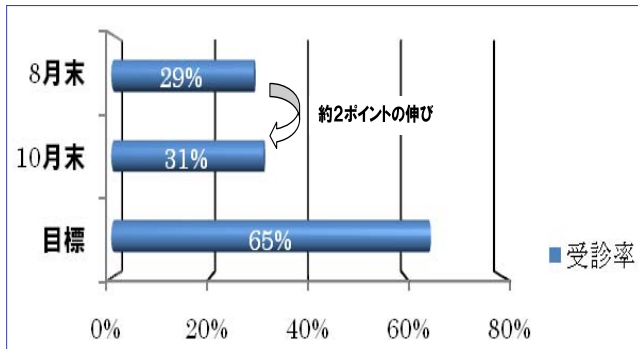
※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館もお待ちしています!

特定健診

受け忘れていませんか？ 特定健診

年に一度は特定健診で健康チェックをしましょう！
健康管理の専門家があなたの健康づくりをサポートします。

■松浦市の特定健診受診率（平成 24 年度）



受診率は目標とする 65%にはまだまだ届かない状況です。

病院で受ける検査と特定健診の内容は違う場合がありますので、通院されている人も特定健診を受けましょう！

■ 1月の集団健診のご案内

次の日程で集団健診（特定健診、前立腺がん検査のみ）を実施します。

期 日	場 所	受付時間
1月30日 (水)	文化会館 小ホール	午前 8 時 45 分～ 11 時 午後 1 時～ 3 時

【特定健診】 40 歳以上の松浦市国保加入者が対象です。受診券・保険証・受診料（500 円）が必要です。

【前立腺がん検査】 50 歳以上の男性が対象です。保険証・受診料（1,680 円）が必要です。

※ 10 月末現在で受診の確認がとれていない対象者へ電話での受診勧奨を行っております。

○問合せ先 健康ほけん課国保係 ☎内線 126

あなたの健康お手伝いします

すこやか
けんやか

慢性腎臓病（CKD）を「ご存じですか？」

問合せ先 健康ほけん課健康推進係
☎内線 129

慢性腎臓病（CKD）とは、慢性的に尿たんぱくがあるなど、腎臓の機能が低下した状態をいいます。腎臓は一度機能が低下してしまうと、もとに戻りにくい臓器です。

また、CKD は自覚症状がないまま進行するため、だるさ、むくみといった症状があらわれる頃には、すでに腎臓の機能が低下しており、重症化すると人工透析が必要となります。

そのため、CKD の予防や早期発見には、定期的に健診を受け、生活習慣を改善することが大切です。

『腎機能の低下を予防するために食生活を見直しましょう』

○栄養バランスを考えて食べましょう

主食（ご飯・パン・麺類）、主菜（肉・魚・卵・大豆製品）副菜（野菜・きのこ・海藻）を取りそろえ、バランスの取れた食事をしましょう。

○塩分を取り過ぎないようにしましょう

塩分の取り過ぎは腎臓に負担をかけてしまいます。だしを利かせる、酢・柑橘類の酸味を利用するなど、意識して減塩に心がけましょう。

○たんぱく質は適量を守りましょう

たんぱく質の取り過ぎは体内に老廃物を蓄積させます。良質なたんぱく質（肉・魚・卵・大豆製品）を取りましょう。

○脂質の多い料理を減らしましょう

揚げ物や肉料理など、脂質の多い食事は内臓脂肪を蓄積させる原因になります。

○お酒は適量を守りましょう

ビールなら 1 日に中ビン 1 本、日本酒なら 1 合程度に抑えましょう。また、週 1 ～ 2 回の休肝日をつくりましょう。

自分の生活習慣を振り返り、まずはできることから始めてみましょう！